

11 理科 単元の整理 やった分だけ合格が近くなる！ 四季の生物

1 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

地球上には様々な気候の国があります。緯度0を中心に、北緯①()度の②()と、南緯③()度の④()の間の地域を⑤()と呼んでいます。また、北緯⑥()度より北の地域を⑦()、南緯⑧()度より南の地域を⑨()と呼んでいます。日本は、その間の⑩()と呼ばれる地域に位置しています。この地域は、北の方は亜寒帯、真ん中を温帯、南の方は亜熱帯と分けられることもあります。

① <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	② <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	③ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>
④ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑤ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑥ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>
⑦ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑧ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑨ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>
⑩ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>		

2 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

日本の国土は、現在主権が及ぶ範囲で考えると、最北端は北緯45度31分の①()、最南端は北緯20度25分の②()、最東端は統計153度58分南鳥島、最西端は統計122度56分の与那国島に囲まれた地域で、大部分は③()地域にを中心に広がっているため、年間の平均気温は④()℃から⑤()℃であり、年間降水量は⑥()mmから⑦()mm程度で、⑧()の変化が豊かであるとされています。⑨()大陸の東に位置するため、冬は⑩()、夏は⑪()という、⑫()気候の特徴をもちます。

① <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	② <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	③ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>
④ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑤ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑥ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>
⑦ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑧ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑨ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>
⑩ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑪ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>	⑫ <input style="width: 100%; height: 40px; border: 1px solid black;" type="text"/>

3 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

日本は、東アジアの季節風帯にあるので、季節風気候の特徴をもち、冬は①()からの季節風が、夏には、②()からの季節風が吹きます。この2つの季節風の入れ替わりの時期には、春から夏にかけては③()、秋から冬にかけては④()という2つの雨の多い時期があります。また、夏から秋にかけては南方海上から、⑤()がやってきて、暴風雨・洪水・高潮の被害を受けることがあります。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>		

4 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

動物には、体温がまわりの温度につ入れて変化する、①()動物と、まわりの温度に無関係に体温が、ほぼ一定に保たれている②()動物があります。一定に保たれている動物には、背骨をもち、体が羽毛におおわれ、卵を産む③()や、毛におおわれ、親に似た子を産む④()があります。それ以外の動物は、冬の間には体温が低下し、活動できなくなるので、さまざま冬越しの仕方をして冬を越していきます。昆虫などでは、モンシロチョウは⑤()で、カマキリは⑥()で、カブトムシは⑦()で、テントウムシは⑧()で冬を越していきます。フナやコイなどの⑨()では水の底で、カエルなどの両生類では⑩()の中で冬を越します。体温が一定に保たれる動物でも、体が小さいなどのため、体温を保つのが困難になるコウモリやヤマネや、体が大きく餌が不足するクマなども、⑪()して冬を越していきます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>
⑩	<input type="text"/>	⑪	<input type="text"/>		

5 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

同じ株が生き続け毎年、新しい葉を茂らせる草を①()といいます。また、秋に芽が出て、冬を越し、春に花を咲かせて種子を作り枯れてしまう草を、冬を越すことから、③()といい、春から夏にかけて芽が出て、秋には種子を作り枯れてしまう草を③()といいます

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------

6 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

日本の国土は、南北に長く、山がちなため、春のおとずれは①()の地方の②()からやってきます。そして、少しずつ③()へ、山の高い所へと移動していきます。気象庁では季節の変化を、生物を観察することで読み取る作業もしており、ウメ、ツバキ、タンポポ、ソメイヨシノ、ヤマツツジ、ノダフジ、ヤマハギ、アジサイ、ススキの9種の開花を観察しています。このうち、サクラの一品種である④()の開花は、平年では大分・四国南部に3月25日ごろ、関東地方を⑤()月末に、やがて津軽海峡を⑥()月末に越えて、⑦()月中旬には、日本を通り抜けていきます。同じ日に開花した地域を線で結ぶと、開花の様子がよくわかります。地図上に示した、同じ日にサクラが開花するところを結んだ線をサクラの⑧()と呼んでいます。

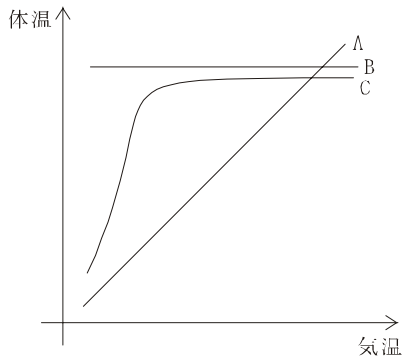
①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>		

7 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

春は、南の地方の平地からおとずれます。そして、少しずつ北へ、山の上へとのぼっていきます。これに対して秋は、①()地方の②()からやってきて、少しずつ③()へ、④()へとやってきます。秋になると⑤()と呼ばれる、冬に葉を落とす樹木では、葉の色を赤や黄色、茶色などに変えて散っていきます。この葉の色が変わることを⑥()と呼んでいます。この目印として良く使われる「もみじ」は⑦()と呼ばれる植物で、同じ日に葉の色が変化する地域を調べてみると、サクラと同じような曲線が作れます。これを⑧()と呼んでいます。良く似た曲線ですが、この曲線の日付は、⑨()の地方から、山の⑩()の方から、少しずつ⑪()の地方へ、山の⑫()の方へと進んでいきます。

①	<input type="text"/>	②	<input type="text"/>	③	<input type="text"/>
④	<input type="text"/>	⑤	<input type="text"/>	⑥	<input type="text"/>
⑦	<input type="text"/>	⑧	<input type="text"/>	⑨	<input type="text"/>
⑩	<input type="text"/>	⑪	<input type="text"/>	⑫	<input type="text"/>

8 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。



動物の体温と周りの温度を調べてみると、左のような3つのタイプの動物がいます。Aの動物では、周りの温度につれて、体温が変化しているので、①()動物であるとわかります。イヌ・ヤマネ・カエルの3つの動物の中では、②()がこのような体温の変化をします。これに対してBの動物では、体温は周りの温度に関係なく常に一定に保たれている③()動物であることがわかります。先ほど挙げた3つの動物の中では、④()がこれに当たります。Cの動物は、あるていどの気温までは体温が一定に保たれていますが、この温度以下に下がると、体温を下げ、活動を極端に切りつめるようになります。これは、温かい時期には、体温が一定に保たれているので、⑤()動物なのですが、冬の寒い時期に体力を使わないために⑥()をして冬を越す動物であると考えられます。このような体温変化をする動物は、先に挙げ3つの中では⑦()が当てはまります。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦

9 次の文の()の中に当てはまる語句をそれぞれ答えなさい。

鳥の間では、季節によって住む場所を変える、①()と呼ばれる行動を取るものがあります。春から夏にかけて日本に飛来して、子育てをするものを②()と呼んでいます。ハクチョウ・ツバメ・スズメの3つの動物の中で、これに当てはまるのは③()です。また、冬の寒い時期に、餌を求めて北の地方から日本へやってくるものもあります。このような鳥を④()と呼んでいます。これに当てはまる鳥は、先の3つの中では⑤()が当てはまります。そして、一年中日本にいる、先の3つの中の⑥()は⑦()と呼ばれています。

- ① ② ③
- ④ ⑤ ⑥
- ⑦